

# 189号建物他設備配管補修工事

担当部隊 陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊	工事名称 189号建物他設備配管補修工事	図面名称 表紙	縮尺 —	図面番号 1/4
-----------------------	-------------------------	------------	---------	-------------



## 仕 様 書

- 1 工事件名 : 189号建物他設備配管補修工事
- 2 工事場所 : 東京都練馬区北町4-1-1 練馬駐屯地内
- 3 工事概要 : 189号建物: 既設冷温水管(往・還)撤去の後、新設 1式  
 220号建物: PS内既設汚水配管切断撤去の後、新設 2箇所  
 200号建物: 1F天井裏小便器用鉛管切断撤去の後、新設 1箇所

- 4 適用基準 :
- (1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編)
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)
- (3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編)
- (4) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)

5 一般事項

- (1) 本工事は、本仕様書に基づき、関係法令を遵守し、適正に履行する。また、仕様書に記載なき事項で当然必要と考えられる事項については、事前に監督官と協議し、その指示に従い履行する。
- (2) 本工事に際し、他の構造物に損傷を与えた場合には、速やかに監督官に報告し、請負者の負担において復旧するものとする。
- (3) 工事着工にあたっては十分な安全対策を施し、作業員に対しては注意喚起を徹底させる。
- (4) 検査困難な場所については、その施工に監督官の立会を受けるものとする。
- (5) 本工事実施に伴う、必要書類については、契約締結後、監督官の指示に従い、速やかに提出するものとする。
- (6) 工事写真は、着工前・中・後をそれぞれ撮影し、アルバムに整理して1部を監督官に提出する。また、検査困難な部分においては、監督官の指示を受け写真を提出するものとする。
- (7) 工事中、現場整理・危険予防及び火災予防に十分注意し、作業が完了したときは関係区域内の後片付け及び清掃を確実に行う。
- (8) 電気・水道の使用は請負者の持ち込みとするが、やむを得ず官側のこれを使用する場合は調整により決定する。
- (9) 鉄屑等売却可能な発生材は、指示された場所に運搬集積し所定の調書を作成し監督官に提出するものとする。その他、工事により発生した産業廃棄物については請負業者にて処分せず、産業廃棄物の種類ごとに分別、各々の重量を監督官へ報告した後、指示された場所に運搬集積するものとする。
- (10) その他、疑義が生じた場合は、監督官と調整のうえ実施するものとする。

6 特記事項

- (1) 本工事に使用する材料は、本仕様書及び図面に適合するものとし、すべて新品とする。
- (2) 本工事に使用する材料は全て監督官の検査を受け合格を得たものとする。なお、工事受注後速やかに官側に見本、又は承認図を提示し、承認を受けた後に発注すること。又、検査を受ける際には監督官が指示した出荷証明等の資料を提出する。
- (3) 細部作業日時及び、作業内容については、事前に監督官と調整のうえ、承認を得た後に、工事に取り掛かるものとする。
- (4) 工事作業者の現場への立入経路及び資材置場、廃棄物置場等については、監督官の指示に従うものとする。
- (5) 仕様書及び図面に記載並びに監督官の指示がなくとも技術的に当然なすべき事は実施すること。
- (6) 仕様書、図面に記載の寸法等はあくまでも標準寸法であるため、工事前に必ず現地確認し、施工すること。

(7) 本工事で使用する材料は下記のとおり。

ア 配管工事類

呼 称	規 格			用途	
	番 号	名 称	備 考		
管	耐熱性ライニング鋼管	JWWA K 140	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-HVA	冷温水
	排水用塩化ビニルライニング鋼管	WSP 042	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管		排水
	鋼管	JIS G 3452	配管用炭素鋼鋼管	白管	通気
継手	鋼管継手	JIS B 2302 JIS B 2220	ねじ込み式鋼管製管継手 鋼製管フランジ		
	排水用塩化ビニルライニング鋼管継手	JPF MDJ 002	排水鋼管用可とう継手 (MDジョイント)		クッションパッキン付を含む。

イ 配管付属品

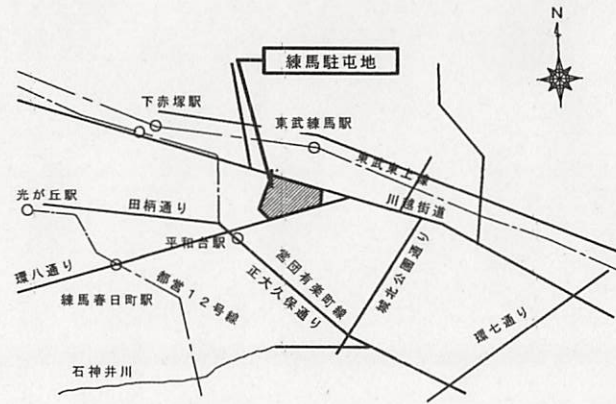
- (7) 鉛管接続用排水鑄鉄管 フラグターフランジ 参考品 同等以上  
 ・品番 DAP-FL : 樹カメ製

ウ 配管保温

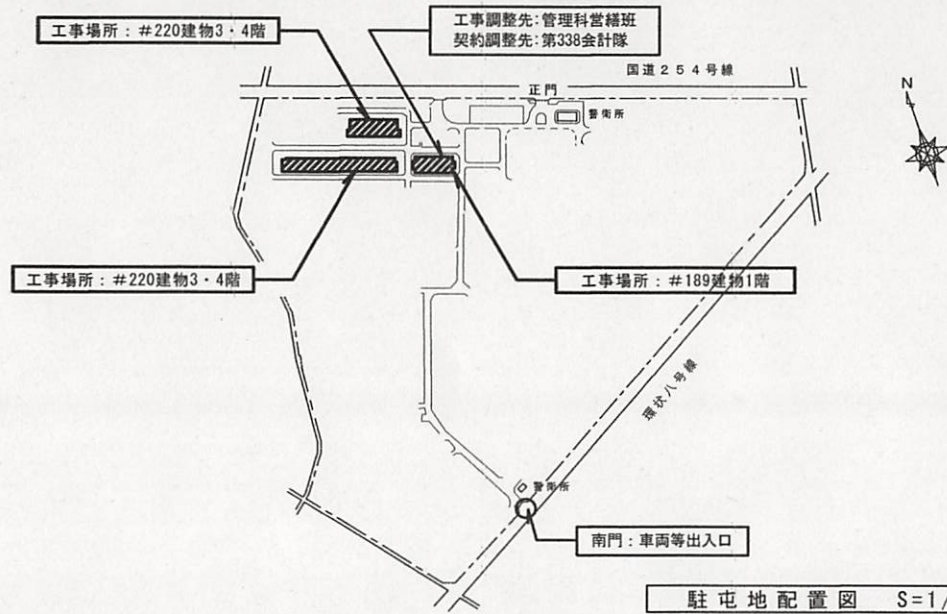
- (7) 冷温水管の保温の種別は下記による。  
 種別: C1・(ロ)・Ⅲ  
 施工順序: グラスウール保温筒、鉄線、ポリエチレンフィルム、アルミガラスクロス
- (4) 排水管の保温の種別は下記による。  
 種別: C2・(ロ)・Ⅶ  
 施工順序: グラスウール保温筒、アルミガラスクロス粘着テープ
- (8) 支持金物については原則再使用とするも、再使用に耐えないものについては新設するものとする。
- (9) 冷温水管改修後の冷凍機本体始動・圧抜き・流量調整については、官側で実施するものとし、その際、施工上の不具合が見つかった場合は速やかに手直しを実施すること。
- (10) 本工事が確実に完了した証明として、機能補償を自然災害を除き工事竣工後1箇年とする。

担当部隊 陸上自衛隊練馬駐屯地業務隊	工事名称 189号建物他設備配管補修工事	図面名称 工事仕様書	縮尺 図示	図面番号 2/4
-----------------------	-------------------------	---------------	----------	-------------

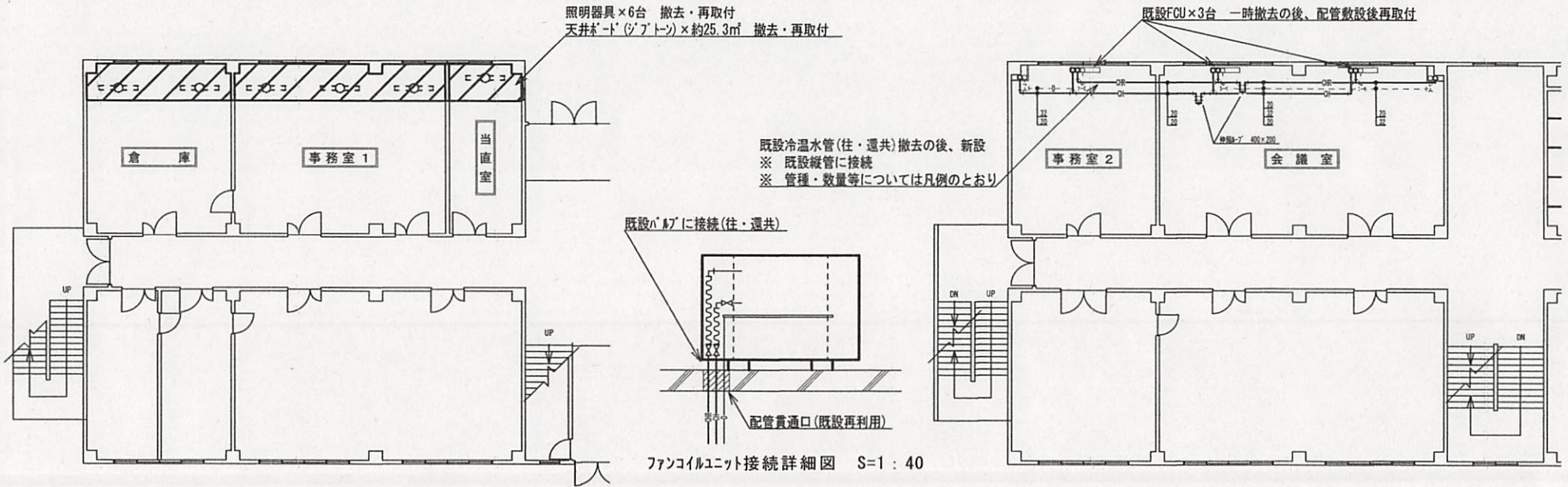




駐屯地案内図 S=1/Non



駐屯地配置図 S=1/6,000



#189建物1階平面図 S=1:150

#189建物2階平面図 S=1:150

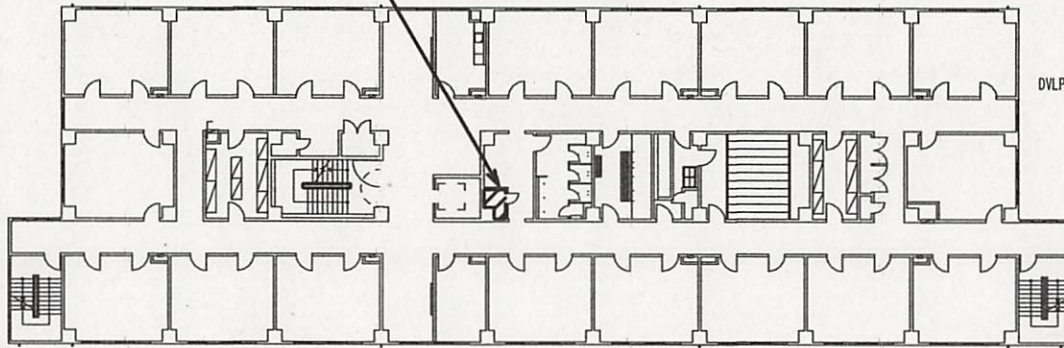
凡例

記号	種別	管種		参考数量
		撤去	新設	
—CH—	冷温水管(往)	SGP(白)	SGP-HVA	21.5m
—CHR—	冷温水管(還)	SGP(白)	SGP-HVA	21.8m
---D---	ドレン管	既設のまま		—

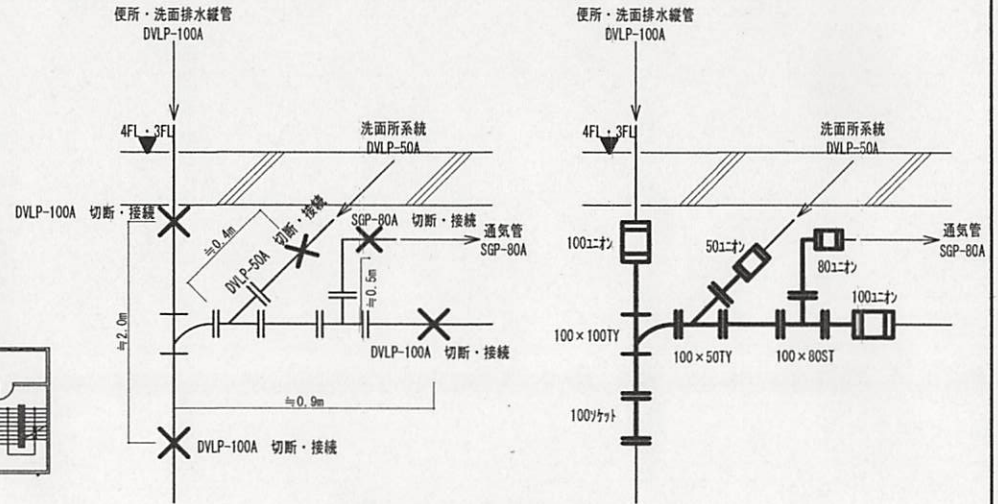
※保温材料(撤去・新設共)及び施工順序※  
 ・保温種別: C1・D・III (冷温水管 天井内)  
 (ｸﾞﾗｽｸﾞｰﾙ保温筒(厚30mm)、鉄線、ﾎﾟﾘｴﾚﾝﾌﾗｲﾊﾞﾙ、ﾌﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾞﾙ)



工事実施場所 (2F及び3Fハイツ内)  
 工事内容  
 3F及び4F便所・洗面所系統配管改修×2箇所  
 ※ 改修詳細については、右図のとおり



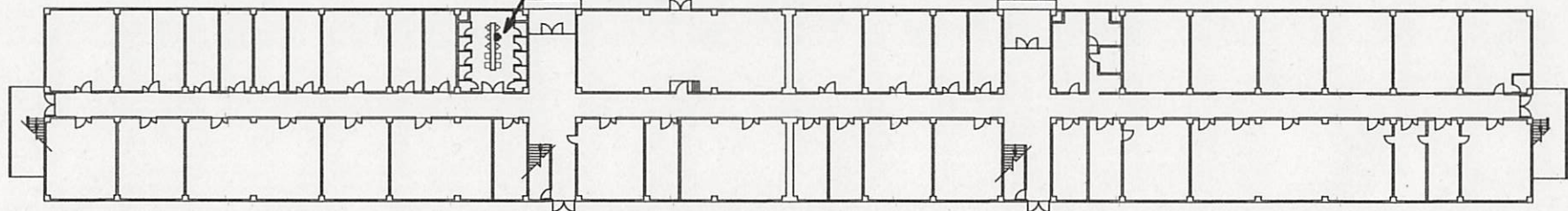
#220建物3～4階平面図 S=1:250



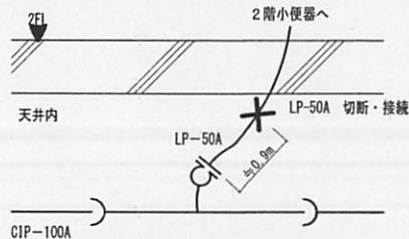
※保温材料(撤去・新設共)及び施工順序※  
 ・保温種別:C2・ロ・VII(排水管 PS内)  
 (ケラスクール保温筒(厚20~25mm)、アミガラスト粘着テープ)

PS内配管改修詳細図(既設) S=N:S PS内配管改修詳細図(改修後) S=N:S

工事実施場所 (1F便所)  
 工事内容  
 2F小便器配管改修×1箇所  
 ※ 改修詳細については、下図のとおり

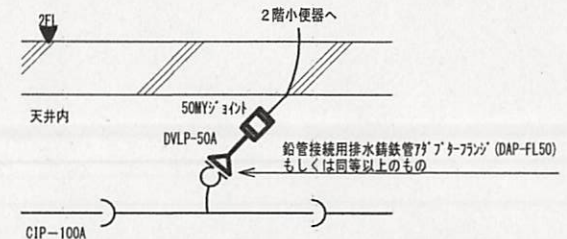


#200建物2階平面図 S=1:400



小便器配管改修詳細図(既設) S=N:S

※保温材料(撤去・新設共)及び施工順序※  
 ・保温種別:C2・ロ・VII(排水管 天井内)  
 (ケラスクール保温筒(厚20mm)、アミガラスト粘着テープ)  
 ※施工に必要な天井材撤去及び復旧については、官側で実施する。  
 ※天井高さについては、GL+2.100である。



小便器配管改修詳細図(改修後) S=N:S